

平成27年度予算見積調書

課室名： 少子政策課

担当名： 保育運営・幼保連携担当

内線： 3330

(単位：千円)

| 番号 | 事業名 | | | 会計 | 款 | 項 | 目 | 説明事業 | |
|------|--|---------|--------------------------|--|------|--------|----------|-----------|-----------|
| B221 | 施設型給付費負担金 | | | 一般会計 | 民生費 | 児童福祉費 | 児童措置費 | 施設型給付費負担金 | |
| 事業期間 | 平成27年度～ | 根拠法令 | 児童福祉法第55条、子ども・子育て支援法第67条 | | | 戦略項目 | 01 | 子育ての安心 | |
| | | | | | 分野施策 | 010101 | 子育て支援の充実 | | |
| 1 | 事業の概要 | | | 5 事業説明 | | | | | |
| | <p>保護者の労働又は疾病等の理由により、保育の必要性の認定を受けた児童を保育所や幼稚園等に入所させ、児童の健全な育成を図る。</p> <p>(1) 保育所等負担金 8,798,359千円 (2) 幼稚園等負担金 1,479,631千円</p> | | | <p>(1) 事業内容</p> <p>ア 保育所等負担金 児童福祉法第24条及び子ども・子育て支援法第20条の規定に基づき市町村が保育の必要性の認定を受けた児童を保育所等に入所させた場合、私立保育所等に限り児童福祉法第55条及び子ども・子育て支援法第67条の規定により所要経費の1/4を義務負担する。</p> <p>イ 幼稚園等負担金 子ども・子育て支援法第20条の規定に基づき教育標準時間認定を受けた児童を施設型給付を受ける幼稚園等に入園させた場合、私立幼稚園等に限り子ども・子育て支援法第67条の規定により所要経費の1/4を義務負担する。</p> <p>(2) 事業計画 「埼玉県5か年計画」において、保育サービスの利用可能な児童数を15,000人分拡大することとしている。</p> <p>(3) 事業効果 保護者の就労や疾病などにより、保育の必要性の認定及び教育標準時間認定を受けた児童を入所させることにより、子育てと仕事の両立及び児童の健全な育成が図られる。</p> <p>(4) その他 【前年度からの変更点】 平成27年4月から新たに「子ども・子育て支援新制度」が施行されることに伴い、保育所、幼稚園、認定こども園を通じた共通の「施設型給付」が創設された。それに伴い、以下4事業を本事業に含めて積算している。 保育所運営費負担金 特定保育事業 認定こども園事業費 保育士等処遇改善臨時特例事業</p> | | | | | |
| 2 | 事業主体及び負担区分 | | | | | | | | |
| | <p>事業主体：市町村 負担区分：国1/2 (県1/4) 市町村1/4</p> | | | | | | | | |
| 3 | 地方財政措置の状況 | | | | | | | | |
| 4 | 事業費に係る人件費、組織の新設、改廃及び増員 9,500千円×2.0人=19,000千円 | | | | | | | | |
| 予算額 | | 財 源 内 訳 | | | | | | 一般財源 | 前年との対比 |
| 決定額 | 9,782,711 | | | | | | | 9,782,711 | 9,782,711 |
| 前年額 | | | | | | | | | |